

## (仮称) 栗東市空き店舗等活用促進事業費補助金制度の概要 (案)

### 1. 背景と目的

「商工振興ビジョンロードマップ前半期ロードマップ」に基づき、平成28年度の「空きテナント調査」と平成29年度の「市民と事業者と意見交換会(ワークショップ)」を実施し、その結果等を踏まえて、栗東駅、手原駅周辺の賑わい創出と地域経済活性化に向けて、空き店舗等の減少及び商環境の向上を図るため制度を創設するもの。

### 2. 制度期間

平成30年度から平成31年度まで(2ヵ年)

### 3. 内容

栗東駅前周辺地区(90.97ha)と手原・安養寺地区(28.78ha)における空き店舗等(3ヶ月以上空き状態が継続しているテナント、空き家で賃貸借可能な建物の全部または一部)において、新たに出店しようとしている出店者(小売業、飲食業、サービス業)ならびにその店舗等の所有者に対して、改装・修繕費用と家賃の一部を補助するもの。

### 4. 補助対象等

No.	対象者	対象経費	補助率	限度額	期間	条件等
①	新規出店者	店舗改装費	20%以内	15万円	1回	市内業者を要活用
②		店舗賃借料	20%以内	月5万円	12ヶ月	
③	新規出店者 (チャレンジショップ <sup>®</sup> )	店舗賃借料	20%以内	月5万円	3~6ヶ月	
④	店舗等所有者	店舗改装費	20%以内	15万円	1回	市内業者を要活用

#### ■ 予算見積

- ① 150千円×10件=1,500千円    ② 600千円×7件=2,100千円  
 ③ 300千円×3件=900千円      ④ 150千円×10件=1,500千円    **合計6,000千円**

### 5. 予算見積の根拠

#### ■ 平成28年度空きテナント実態調査(店舗分のみ)

地区	空き店舗数	総店舗数	空き店舗率
栗東駅周辺	43件	241件	17.8%
手原・安養寺地区	30件	156件	19.2%

#### ■ 他の中心市街地等の空き店舗状況

栗東駅周辺	手原・安養寺地区	草津市	守山市	滋賀県	全国
17.8%	19.2%	9.1%	13.25%	10.2%	13.17%

## 栗東市小規模事業者持続化補助金の概要（案）

### 1. 背景と目的

国の小規模事業者持続化補助金制度を活用して地道な販路開拓等の取り組みを行う市内小規模事業者に対して、市による上乗せ補助を行い、小規模事業者の経営活動を後押しし、地域の活性化を図るために実施します。また、平成29年度に実施された「市民と事業者の意見交換会」での、事業者の積極的な情報発信への取り組みに対しての意見を踏まえ、既存制度を活用した中で、栗東市の上乗せ補助率を一部1/2から2/3へ引き上げるもの。

### 2. 制度期間

平成29年度からの継続、平成30年度まで。

### 3. 内容

国の補助制度である小規模事業者持続化補助金制度を活用し、市による上乗せ補助を行う。

### 4. 補助対象者

市内に事業所を有する小規模事業者であって、全国商工会連合会及び日本商工会議所が定める小規模事業者持続化補助金交付要綱に基づく、「小規模事業者持続化補助金」の採択を受けた事業を実施する者

### 5. 補助額（平成30年度）

補助対象	小規模事業者持続化補助金（国）	栗東市 上乗せ補助
販路開拓等	補助率 2/3 以内 (上限額 50 万円)	事業者負担の 1/2 以内 (上限額 12.5 万円) ただし、補助対象経費のうち広報費の取り組みについては事業者負担の 2/3 以内 (上限額 16 万円)
	下欄のいずれかの取り組みを行う場合は (上限額 100 万)	下欄のいずれかの取り組みを行う場合は (上限額 25 万) ただし、補助対象経費のうち広報費の取り組みについては事業者負担の 2/3 以内 (上限額 33 万円)
	①従業員の賃金を引き上げる取り組み ②雇用を増加させる経営計画に基づく取り組み ③買物弱者対策に取り組む事業 ④海外展開に取り組む事業	

○広報費はパンフレット・ポスター・チラシ等を作成するため、および広告媒体等を活用するために支払われる経費である。

#### 【対象となる経費例】

ウェブサイト作成や更新、チラシ・DM・カタログの外注や発送、新聞・雑誌・インターネット広告、看板作成・設置、試供品、販促品（例：商品・サービスの宣伝広告が掲載されたポケットティッシュ等）

○広報費以外の補助対象経費は、機会装置等費、展示会等出展費、旅費、開発費、資料購入費、雑役務費、借料、専門家謝金、専門家旅費、車両購入費、委託費、外注費がある。

#### ■予算見積

**5,000千円**

### 6. 実績等

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
申請件数	66 件	42 件	59 件
採択件数	48 件	23 件	38 件

# 観光客向けのコンテンツ拡充事業の概要（案）

## 1. 背景と目的

訪日外国人観光客数及び消費額は年々増加の一途を辿っており、国全体及び関西への来訪は2017年に過去最高を更新した。また、今年6月の住宅宿泊事業法（民泊新法）の施行を受け、各自治体での受入基盤整備が進むなど、今後地域間競争が激しくなっていくと考えられる。

さらに、滋賀県における2017年の観光入込客数も日本人は過去最高を記録、外国人も大幅な増となる中、今年開催される県大型観光キャンペーンに向けて各市町での取り組みが進められている。

こうしたことから、本市においても本市の魅力発信とあわせて積極的な受入環境を年次的に整えていくことで観光による経済効果を高めるため、総合戦略に掲げる「観光事業の推進」に係る具体的取り組みとして実施する。

なお、今年度作成の多言語版観光パンフレットを関空内の観光案内所等に設置することで外国人観光客の誘客を図ることから、誘客後のおもてなしの一環として本事業を実施する。

## 2. 内容

### (1) 観光案内板修繕事業

市の玄関口であるJR駅構内に設置している観光案内板の掲載情報を更新するとともに、多言語での表示を行う。

### (2) 多言語観光案内導入事業

スマートフォンやタブレットを使い、観光施設に設置の案内看板や前述の多言語版観光パンフレットに設置・貼付したQRコードを読み取ることで、文字や画像、音声により多言語で施設案内・解説を行う。

## 3. 予算見積

(1) 観光案内板修繕 500千円（看板2枚程度）

(2) 多言語観光案内導入業務 1,300千円

（4言語・多言語版観光ガイドマップに掲載する施設を中心に20箇所程度）

## 4. その他

観光による経済効果をより一層高めるためには、観光客の滞在・周遊を促進するための仕組み作りが必要である。そのため、多言語での観光周遊コースやイベント・ニュースなどの情報提供、現在地からのルート検索、さらには観光物産協会事業等と連動したスタンプラリー等のイベント開催等を可能とするスマートフォンアプリの開発などに向けた検討を引き続き行っていく。

# (仮称) 栗東市観光振興ビジョン策定事業の概要 (案)

## 1. 背景と目的

「商工振興ビジョン後半期ロードマップ」等における観光振興の方向性と具体的施策を示すとともに、「シティセールス戦略」「地域資源活用ビジョン」等の観光関連計画との連携を図りつつ、観光振興施策を計画的かつ効果的に推進するための本市観光の総合的かつ経済効果を最大化する観光戦略として策定する。

なお、観光客数の増加が観光消費額の増大に繋がるとした従来の視点ではなく、地域によって観光客の消費単価や域内調達率は大きく異なることから、本ビジョンでは、質を落とさずサービスの供給ができる安定的な旅行客数や、具体的なターゲットを設定した客単価を高めるためのマーケティング戦略、観光産業をベースとした持続可能な地域づくり等のために必要な施策を明示する。

## 2. 時期

### ○ 計画期間

平成32年度から5年間

### ○ スケジュール

平成29年度：観光ニーズ調査（観光客ニーズ調査、観光関連産業実態調査）

平成30年度：ビジョン基本構想の策定、関係部署との調整

平成31年度：ビジョン策定に向けた議論・検討～ビジョン策定

## 3. 内容

策定に向けて、平成30年度に以下の事業を実施する。

### ○ (仮称) 栗東市観光振興ビジョン基本構想策定

今年度の調査結果を基礎資料として、経済産業省が示す「経済波及効果推計モデル」を活用し、観光による市内経済全体への波及効果（観光客の来訪により観光関連産業にどの程度の売上が発生し、それらを通じて二次・三次的に市内事業者がどの程度利益を得ているか）を分析し、課題・弱みや強み等を明らかにするとともに、基本的な方向性や方針を策定する。

## 4. 予算見積

1,300千円（外部委託費用として）

## 5. その他

本ビジョンは、本市の観光の進むべき方向や注力すべきポイント及び具体的施策を示すとともに、市民や団体、事業者等との連携のもと、まちぐるみで継続的に観光客を受け入れる仕組みを構築していく。